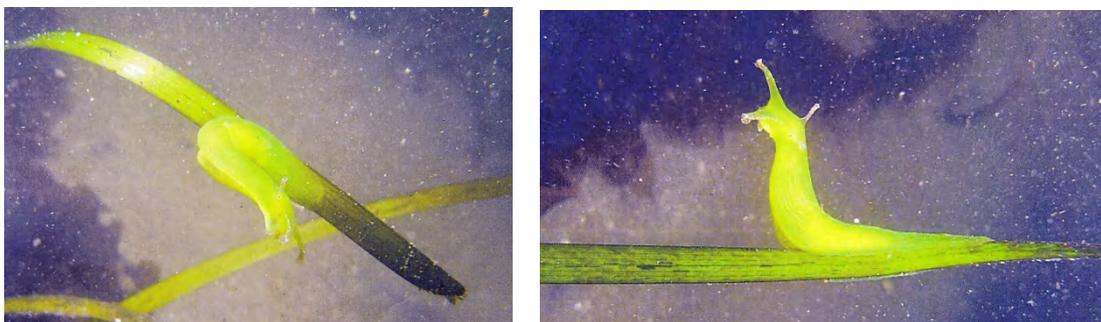
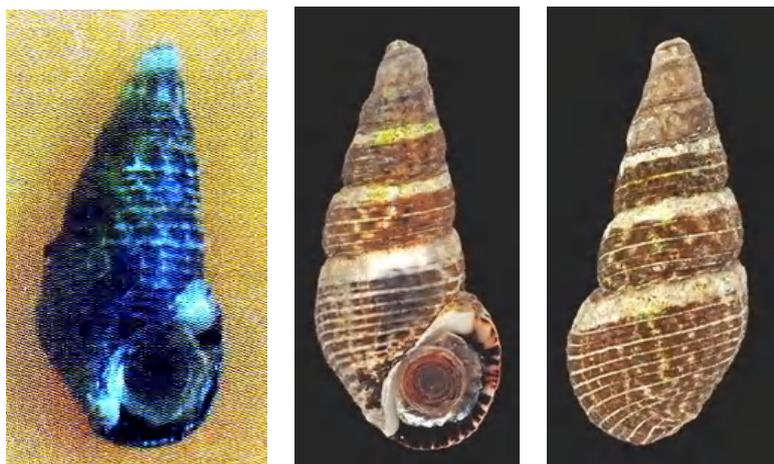


アメフラシ科 大きさ 3cm、和名のとおりナメクジによく似ている。分布は青森県以南。アマモ・アナアオサ等の海草上に生息。アマモの色に同化している（保護色）。



アマモの葉上を這うウミナメクジ

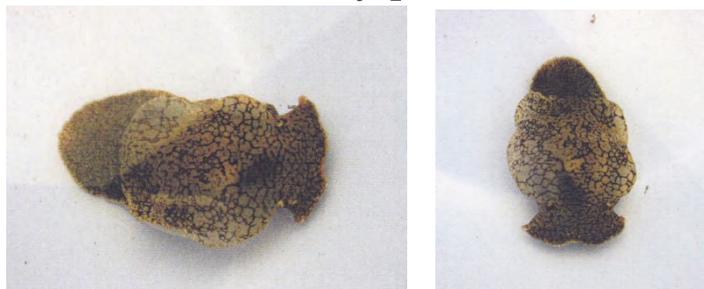
ウミニナ *Batillaria multiformis* (Lischke) (観介) 海蝿



ウミニナ科 殻高 3cm。殻は塔型で螺層は多く、殻は堅固、蓋は丸い角質。分布は北海道南部以南。

汽水環境の干潟等に生息。アサリの放流に付随したものと思われる。

ウミフクロウ *Pleurobranchaea japonica* Thiele



ウミフクロウ科 大きき 7cm。貝殻はない、全体が灰褐色地に濃褐色の網目状の斑紋がある。分布は本州全域と九州、中国・ニュージーランド。

食性は死んだ魚など、何でも食べる海の掃除屋。卵塊はトコロテン状。



写真右：アナゴ簀の餌（イカ）に集まったウミフクロウ（黒い部分）。

エゾタマガイ *Cryptonatica andoi* (Nomura)



タマガイ科 殻長 5cm。蓋は石灰質で外縁に沿って 2 本の溝がある。殻口内は紫色を帯びる。分布は北海道南部以南。

本種もアサリ等の殻に穴を開け二枚貝を食べるが、ツメタガイと比べると、エゾタマガイがあけた方が大きく、穴は殻の中央部にある。ツメタガイの穴は小さく、位置は殻頂部である（小菅貞男 1967 年）。

ツメタガイ 外径 3.22mm (2.0~4.5mm) 内径 1.68mm (1.2~2.3mm)

エゾタマガイ 外径 5.00mm (4.0~5.5mm) 内径 3.26mm (2.8~3.5mm)

*小菅貞男(1967) ツメタガイとエゾタマガイの穴のあけかた ちりぼたん 4(7)